

# 連合岩手釜石・遠野地協

# NEWS LETTER

連合岩手釜石・遠野地域協議会  
NEWS LETTER

第16号

発行人 菊池喜彦

編集人 大槻 忍

2020年4月



【写真上】：釜石市との意見交換であいさつする連合岩手・八幡会長 【写真下】：三陸ひとつなぎ自然学校・伊藤聡代表、釜石市社協・菊池亮課長、釜石地方森林組合・高橋幸男参事から説明をいただく

連合本部では、東日本大震災からの復興・再生を最重要課題と

連合本部は3月2日～3日に来県し、東日本大震災からの復興状況調査を実施しました。3日には連合岩手の八幡会長も同行して釜石市を訪れ、野田市長や復興・地域づくりに取り組み団体等と意見交換、震災から9年の現状と課題を集約しました。

## 連合本部「被災地復興状況調査」が釜石入り 現状・課題を集約し政策提言へ



・再生に向けた政策を策定し、国をはじめ各方面に要請してまいります。本年も、政策の補強・修正をはかるため「被災地復興調査」に経済・社会政策局と生活福祉局の役員3名が来県しました。



3月3日(火)には連合岩手の八幡会長も同行して釜石市を訪れ、復興や地域づくりに取り組む団体や野田市長をはじめ関係部長と意見交換を行いました。



見交換を行いました。意見交換会は釜石市鶴住居の「いのちをつなぐ未来館」を会場に、震災の伝承と子どもの心身のケア、子どもの居場所づくりに取り組む「三陸ひとつなぎ自然学校」、高齢者の心身のケアと生活困窮者の就労支援を「薪づくり」を通じて取り組んでいる「釜石市社会福祉協議会」と「ゴジヨる」、林業を通じた地域復興に取り組み「釜石地方森林組合」から課題・要望等の提起を受け意見交換を行いました。その後釜石市役所に移動し市と意見交換、野田市長から震災復興に加え2019台風・19号被害からの復旧・復興、心のケアと新たなコミュニティづくりの必要性、人口減少の中で将来的な財政負担への懸念などの課題が提起されました。市からの課題提起に対し連合岩手の八幡会長が「心のケア対策など重要な課題について国や県に引き続き要請する」と決意を述べました。見交換会を閉じました。連合本部では、課題を整理し国や関係各機関への要請を行います。

昨年の植樹活動。昨年は雨の中での植樹でした。



# 2020年5月1日は 「第91回メーデー」 今年はメーデー100年

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

# メーデー集会は中止

2020年5月1日は「第91回メーデー」です。今年は1920年に上野公園で第1回集会が開催されたから記念すべき「メーデー100年」の年にあたります。この記念すべき今年のメーデーでしたが、連合岩手は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点

から「第91回メーデー集会」を中央集会・地区集会ともに中止することを決定しました。釜石・遠野地協では、連合岩手の方針を受けて緊急四役会議を開催、さらに「持ち回り幹事会」を開催して釜石・遠野の

地区集会中止を確認しました。同時に「メーデー100年」となるメーデーの意義を周知するための行動として宣伝チラシの新聞折り込み、宣伝力

を確認しました。「第91回メーデー」集会の中止は本意ではありませんが、新型コロナウイルス感染症拡大防止に積極的な役割を果たし、「第92回メーデー」集会を盛大に開催し労働者の祭典を祝いましょう。

## 連合岩手結成30周年記念事業

### 「尾崎半島火災現場」への植樹

6月13日(土)に開催へ

連合岩手結成30周年事業の最後をかざる「尾崎半島火災現場」への植樹は2020年6月13日(土)に実施する予定で準備を進めています。実施についてはすでに実施計画で承認されており、今後、連合岩手執行委員

会で具体的な内容を確認し、参加者募集をスタートします。今年で3回目となる植樹ですが、「30周年事業」として実施することから規模・内容とも拡充し、記念植樹も予定しています。

尾崎半島山林火災からの山林再生にあたって、釜石・遠野地協では植樹活動のほかにも被災木を活用したグッズの製作などでも支援を続けてきました。釜石・遠野地協からも多数参加いただき、支援活動を進めましょう。

**キャンプシーズン到来!**  
薪の準備はお済みですか?  
薪のことならゴジヨる 090-2364-4835  
釜石市箱崎町7地割12 お問い合わせ

ストーブに、暖炉に、ピザ窯に、キャンプに  
**広葉樹MX 500円**  
釜石市内配送無料  
薪の準備はゴジヨる

※本事業は釜石市社会福祉協議会が中央共同募金会福祉基金助成を活用し、被災地において高齢者などの生きがいの場を提供する福祉事業です。

じよんの町を良くするしくみ。赤い羽根共同募金

facebookにて活動情報発信中!